

# 小論文テーマ一覧

## 国公立大学／一般入試／農水産系統

大学名・学部名 学科(専攻(コース))(日程/方式)	言語	出題形式	分野	出題内容
岩手大・農 共同獣医(後) 植物生命科(後) 応用生物化(後) 森林科(後) 動物科(後) 食料生産環境(農村地域デザイン・食産業システム学)(後) 食料生産環境(水産システム学)(後)	和	文	科	A I社会は差別や格差を広げる危険をはらむという記事より、A I社会と人類の共存のための方策などを書く。(700字)
	和	文	科	科学は正しさを保障するものではないという文を読み、科学とどのようにつき合っていくべきかなどを書く。(400字)
秋田県立大・生物資源科 生物生産科(後) 生物環境科(後) アグリビジネス(後)	和	文	科, 環	衛星観測による地球温暖化防止対策の効果を述べた文より、温室効果ガス削減のための取り組みなどを書く。(320字)
	和	文	環, 農	世界における日本の水資源の問題を説明する文より、日本が仮想水の輸入大国と言われる理由などを述べる。(400字)
千葉大・園芸 緑地環境(後) 食料資源経済(後)	和	統	社, 農	生産緑地制度を説明する文と生産緑地面積の推移などを示す6つの図より、今後の生産緑地の活用などを書く。(800字)
	和	文	農	ある農家が田んぼを守るために行った工夫を紹介する文より、農業や農村を維持するための方策などを論じる。(800字)
東京海洋大・海洋生命科 海洋生物資源(後) 食品生産科(後)	和	文	社, 科・社	B S E 感染牛を例にリスクとハザードの違いを論じた文より、消費者の不安を増大させない方策などを書く。(710字)
	和	統	経, 社, 環, 自然	人間活動が地球環境に与える影響を述べた文と図表より、社会経済活動を続けるためにできることなどを書く。(650字)
東京海洋大・海洋資源環境 海洋環境科(後)	和	文	社, 科・社	B S E 感染牛を例にリスクとハザードの違いを論じた文より、消費者の不安を増大させない方策などを書く。(710字)
	和	統	経, 社, 環, 自然	人間活動が地球環境に与える影響を述べた文と図表より、社会経済活動を続けるためにできることなどを書く。(650字)
静岡県立大・食品栄養科 食品生命科(後)	英	文	農, 教科	海産物の貿易拡大には好機もあるが懸念も潜むという英文より、持続可能性の観点から今後の課題などを書く。(320字)
	英	文	医他, 教科	腸内の善玉菌の働きを述べた英文を読み、高糖質や高脂質の食事が善玉菌に悪影響を及ぼす理由などを書く。(390字)
	英	統	教育, 生, 教科	日本の学校給食の歴史を述べた英文と学校給食摂取基準などの表より、栄養バランスがよいことなどを書く。(180字)
岡山大・農 総合農業科(後)	和	文	農	貧しい農家の現状を説明した文より、江戸期の街が持続的な経済社会を形成したメカニズムなどを述べる。(380字)
	和	文	農, 教科	狩猟から農業へと推移した世界の歴史を説明する文より、人類が苦味のある植物を摂取する理由などを述べる。(350字)
	英	文	自然, 教科	日本に生息するオオカミの特徴と起源を説明する英文より、日本オオカミの起源の解析方法などを述べる。(420字)
高知大・農林海洋科 農林資源環境科(前) 農芸化(前)	和	文	環, 農	極端現象について説明する文より、今後必要となる極端現象への対策について考えなどを書く。(900字)
	和	文	科, 農	農業の持続的発展には競争力の強化が重要という文より、日本産の農・畜産物への科学技術の役立て方を書く。(800字)
九州大・農 生物資源環境(後)	英	統	環, 教科	イースター島の森林破壊を述べた英文と世界の森林面積の図より、天然林や人工林に取るべき対応などを書く。(700字)
	英	写	環, 農, 教科	バイオ肥料の現状を説明する英文と写真より、日本の水田農業で消化残さの利用が進まない理由などを書く。(600字)
鹿児島大・農 農業生産科(後) 食料生命科(後) 農林環境科(後)	和	文	経, 科, 農	トラクターが農業にもたらした効果を論じた文を読み、スマート技術の農業や林業への活用などを書く。(700字)
	和	統	科, 環	主要国の発電電力量の電源構成を示す図より、化石燃料を引き続き利用していく際に必要な取り組みを書く。(400字)
鹿児島大・水産 水産(水圏科学)(後) 水産(水産資源科学)(後) 水産(食品生命科学)(後)	和	統	政, 経, 農	小型定置網経営体数とその漁獲量の推移を示す図より、小型定置網経営体の所得向上への取り組みなどを書く。(500字)